

## 地域懇談会実施報告書

自治会名 平地区西部ブロック  
(源汲・温泉郷・鹿島・中花見・二ツ屋・新郷自治会)

開催日 平成19年10月27日(土)

時間 午後7時～午後8時30分

開催場所 二ツ屋公民館

参加人数 17名

懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの

なし

対応

なし



事務局参加者 氏名

大町市連合自治会事務局長

酒井 富雄

平地区連合自治会事務局長

傳刀 孝男

平地区連合自治会事務局

勝山 直人

記録者 勝山 直人

## 平地区西部ブロック地域懇談会議事録

【19:00開始】

1. ブロック長 開会あいさつ

2. 平地区連合自治会長 あいさつ

3. 事務局参加者紹介

4. 市長あいさつ

大町市出身の志賀大介氏が作詞して、マヒナスターズが唄う「信濃恋歌」の地元披露歌謡ショーに出席した。歌詞の中に大町の地名や風景がふんだんに散りばめられている。この歌を通じ、全国の皆さんに大町は素晴らしいところであると認識してもらうのと同時に、この地域に住んでいる住民のみなさんにも素晴らしさを再認識してもらうきっかけになればと思う。

地域懇談会は市長就任時の公約でもあり、大町市連合自治会を中心に各地区自治会の協力をいただきながら、各地区に伺ってひざ詰めで、みなさんとの意見交換を図りたいという想いで進めている。これまで行っていた市政懇談会に代わり、よりきめ細かに住民のみなさんから意見を伺いたい。

これからの地域づくりには、市民のみなさんの「参加」と「協働」が欠かせない。これまでのように行政にお任せではなく、何か事業を行なう場合でも企画段階から市民のみなさんに意見を伺うだけではなく、実施の段階でも行政とともに参画してもらい、さらに事業終了時の検証にも参画していただきたい。

「協働」によるまちづくりが必要な理由は2つ

市民のみなさんの行政に対する、より高度で多様化する要望に応えるための有効な手段であること

全国的に市町村の財政力が低下している中で、限られた財源の中でより成果を上げる必要があること

これまでどの自治体も経験してこなかった厳しい課題に直面する中で、住民のみなさんと意見を交換する中で新たな解決法が見出されると考えている。そのためには行政としては情報公開をすすめ、市政が直面している様々な課題について説明し、住民のみなさんとの信頼関係を築く必要がある。

大町市第4次総合計画について(ダイジェスト版の説明)

基本理念 将来像・経営像 めざすまちのテーマ(6本の柱)

5. 懇談 【開始19:15】

### 猿害・熊対策について

#### 出席者

本日の新聞で、小谷村でドングリなどの実のなる木を山に植えるということをはじめたと報道されているが、大町市での取り組みはどうか。

#### 市長

大町市においても同様の取り組みをしばらく前から行っている。今年も9月にポラン

ティアによる作業が行なわれたところである。大町は広葉樹林が比較的多い地域で、山の中に実りの多い地域である。昨年ほどではないが、今年もクマやサルが市内各所に出没している。特に山際の西部地区は被害が多く出ている。市では、電気柵・人による追い払い・モンキードッグなどいくつかの対策を複合的に行っている。

里山を整備することも大きな効果があるということで、昨年は県の補助事業で常盤の長畑から泉にかけて間伐を行った。今年は常盤の泉から北に進み、さらには二ツ屋でも一部始めた。観光の面から温泉郷から扇沢にかけても、地方事務所・国・関西電力などが連携して間伐・整備を進めている。2度3度と出没するようなクマについては、個体調節するしかない。様々な対策の組み合わせの中で極力被害を最小限に食い止めたいと考えている。よい知恵があれば、是非教えていただきたい。

#### 出席者

モンキードッグは大町市に今何頭いるのか？また、半径何メートルの範囲に効果があるのか。

#### 市長

昨年までに市が補助金を出して養成したもの(中型犬以上)は全部で4頭で、今年度さらに4頭養成している。効果については、モンキードッグは基本的に飼い犬であるため、その家の近くにサルが出没した場合に鎖から放し、飼い主とともに山の中に追っていく。信大の研究によれば、犬に追われたサルは、経験上犬がいるところを避けて迂回するという結果が出ている。現在、サルの群れに発信機を取り付け、その群れが里に近づいてきたら、犬と人による追い払いを行なうという体制をとっている。そうすると、追い払いが十分ではない地区にサルが出没するということもある。市内全域で協力して体制を作る必要がある。

#### 出席者

二ツ屋にもサルを追いかける犬がいるが、先日もサルは高い木に逃げ、犬は下でいつまでも吠えていて、サルと犬の鳴き声がいへんで近所迷惑であった。また、昨年クマ捕獲用に檻を設置されたが、1つは入り口のゲートが取り外されたり、ゲートをつなぐロープが切られているにもかかわらず何日も放置されており、管理上問題があったように思う。そんな状態でも期限が来れば檻を引き上げてしまう。もう少し弾力的な運用はできないものか。

#### 出席者

設置した檻については、猟友会が3日交代で毎朝見回っているのもので、そんな状態で何日も放置されているということはありません。また、檻の設置についても行政側から期限が決められているので、それに従うほかない。

#### 市長

檻の設置にあたっては、有害鳥獣捕獲のため、市が地方事務所林務課に申請し、捕獲許可を得て設置し、管理を猟友会に委託している。許可には期限があるため、檻をずっと設置しておくわけにはいかない。仮にいたずらなどがあって本来の目的が果たせないようであれば、市としても気をつけていきたい。近隣のみなさんも何かあれば、市役所・公民館などに連絡していただきたい。前段の近所迷惑の件について

は、飼い主の方にサルをある程度追ったら連れ戻すようにお話をさせていただきたい。

#### 出席者

最近、ムジナ(アナグマ)の被害が目立つようになってきている。収穫の直前にすべて作物を食い荒らされてしまい、作る気がなくなってしまう。詳しい生態や被害に遭わないための対策などを専門家から聞いて広報などで知らせたい。

#### 市長

ムジナに限らず野生動物の生態については、少しずつ分かってきている。11月8日には関東農政局主催で有害鳥獣の駆除技術研究の全国大会が大町で開催される。モンキードッグの取り組みが評価され、全国から研究者が集まってくる。この大会で全国のさまざまな取り組みが発表されるので、市の広報やホームページなどを使って広く市民のみなさんにお知らせしていくよう検討したい。

#### 出席者

サルが増えて困るなら、ボスザルを麻醉銃で撃って捕まえるなどして、去勢してはどうか。

#### 市長

去勢してはどうかという提言は初めていただいた。しかし、軽井沢ではサルの群れを全滅させようとしたができず、ボスザルを駆除したら群れが2つに分かれて逆に大変なことになったという事例もあると聞く。ある群れがそこからいなくなったとしても、別の群れが代わりにやってくることも考えられる。ボスザルの去勢については初めて聞いたことなので、効果があるものなのか調べてみたいと思う。

#### 出席者

9月ごろ温泉郷の住民がクマに襲われたが、その方はクマに抱きついたため軽いケガで済んだという。クマと遭遇した場合の対処法について、講習会を行ったり文書を配布したりする考えはないか。

#### 市長

昨年クマが多く出没したことを受けて山岳博物館でクマ対策のペーパーを作った。多く配布してはないが市内小中学校や広報でも紹介した。山岳博物館の職員の出前講座なども行なうので、自治会で検討して欲しい。

### 観光対策について

#### 出席者

富山側の佐々成政のパレードについて、参加者から話を聞くと是非大町からも富山へ来て欲しいという声がある。私感ではあるがイベント開催についてPR不足ではないか。今後どのような対策を考えているのか聞きたい。

#### 市長

大町市のパレードは立山黒部オープンカーニバルという大町市観光協会が主催する観光PRイベントの中の1つで、毎年テレビ・ラジオ・新聞などマスコミに大きく取り上

げていただいている。また、富山市のパレードは商工会議所が大町と富山の交流という意味も含めて行っている。大町と富山はもともと交流があり、氷見市とは姉妹都市提携を結んでおり、観光面では立山町と毎年会議を持っている。北アルプスをはさんで隣同士である富山との交流は必要なことであり、今後も継続して行っていく。

#### 出席者

アルペンルート冬の期間の観光について話題になっているが、市ではどう考えているのか。

#### 市長

9月議会でもある議員から、「冬の黒部」は新たな観光資源になるという指摘があった。冬でも安全に観光客を黒部ダムまで案内するには、関係機関と慎重に検討する必要がある、すぐにはできないということをご理解いただきたい。人命に関わる事故を一度でも起こしたら、観光地としては命取りとなる。

#### 出席者

国営アルプスあづみの公園は、今後の大町の観光の目玉の一つになると思うが、山岳博物館の動物園を国営公園へ移転してはどうか。

#### 市長

現在、2009年の一部開園に向けて公園内にどのような魅力的なものを作るのか、また公園に来た観光客をどうやってこの地域全体に誘客するかを検討しているところである。魅力的なものということで、雪が降り寒いところに位置する国営公園はここだけなのでスケート場を、また普段下からしか見られない林を上から見られる「林間トレイル」を作ってはどうかなど公園側にいくつか提案した。林間トレイルは採用され、建設が進んでいる。ソフト面では、この地域の民話の語りを行っている「もんぺの会」にお願いして公園内で語りを行ってもらうことも提案した。山岳博物館についても、動物園だけでなくその機能を公園内に移せないか打診したことがあるが、公園は国土交通省の管轄、博物館は文部科学省の管轄、自然保護は環境省というように省庁の壁があるようだ。山岳博物館のポスターやライチョウ・カモシカの剥製などを展示して、博物館を含めて市街地への誘導を図っていきたいと考えている。

#### 出席者

観光には道路整備が欠かせないと思うが、かつて、この北アルプスを貫く道路構想があったが、今の技術をもってすれば建設できるのではないか。飯田と木曾とつなぐ権兵衛トンネルの例もあるとおり、トンネル開通の影響は計りしれない。市長の考えはどうか。

#### 市長

権兵衛トンネルによって木曾谷と伊那は、観光面でも生活面でもかなり変化が見られた。この地域ではまず松本系魚川連絡道路(地域高規格道路)の整備を進めていきたいと考えている。観光面、産業面、生活面からも高速道路のICまで大町から30分は時間がかかりすぎる。先週も国土交通大臣と直接会って陳情をしてきた。

北アルプス横断道路についてもいろいろ話題にはなるが、今のところ具体的な計

画はまだない。富山県側では3ルートほど検討されているようだが、長野県は具体的な構想には至っていない。それよりも現在は南北に長い塩の道沿いの道路の改良が先であるとする。しかし、仮に北アルプスにトンネルが開通すると、富山空港まで3～40分程度で到着できる。魅力的な構想だとは思っている。

#### 出席者

大町総合病院の内科の先生が2人も退職するそうだが、外来診療を3診体制を2診にするのか？今後について聞きたい。

#### 市長

現在大町総合病院には20名の常勤医師がいるが、そのうち2名の内科医から11月末と12月末で退職の申し出がある。2人とも内科医で、現在5名の内科医が3名ということになる。私も直接会って慰留を行ったが、その意志は固く叶わなかった。現在後任の医師を探しているが、全国的に医師不足であり難航している。信州大学にもお願いしているが、年度中途ということもあり、よくて来年の4月に補充できるかどうかというところである。1月からは内科を3名の医師で診なければならず、当面来年3月までは内科の病床数を65から30に減らさざるをえない。入院数を減らし、外来も緊急性の高い方を優先し、市内の開業医・大北医師会・安曇総合病院などの協力を得ながら、この状況を乗り切りたいと考えている。市民の皆様にはなるべくご迷惑をおかけしないように心がけていくが、若干の影響は出るかと思う。詳しくは今月の大町病院だよりをご覧ください。

#### 出席者

この地区には3つの大きな河川(越荒沢堰・野口堰・大町新堰)が流れているが、上流の沈砂池は砂で一杯になり、越流堤から流れている状況である。あんなに砂で一杯にする前に、土砂払いや砂を上げるなど対策を講じるべきではないか。

#### 市長

この地区の河川の水利は高瀬川上流水利委員会・大町市土地改良区で管理している。沈砂池が砂で一杯になってしまっているのは何らかの事情があるのだと考える。鹿島川の上流では砂防工事の計画があり、土砂をなるべく上で止めたり、3つの堰を改良したり、水門を改良したりといくつかの対策が必要であるとする。関係機関との調整が整った段階で、地元にも相談したい。

### 安全対策について

#### 出席者

学童の交通安全対策について、二ツ屋地区の学童は歩いて北小学校まで通学しているが、通学路に歩道が整備されていないため、特に冬期間は除雪のため道が狭くなり自動車に注意しながら通わなくてはいけない。大雪が降った朝には保護者が学校まで送らざるを得ない。今まで事故こそなかったが、吹き溜まりになる箇所があったり、自動車が2台すれ違うのがやっとであったり、たいへん危険な状況である。建設課にも陳情したところだが、対策を講じていただきたい。

### 【冬の通学路の状況】



#### 市長

通学路の安全確保には歩道の整備が有効であると考えている。しかしながら、長い市道の中ですべての歩道を整備することは今の限られた市の予算の中では難しく、優先順位をつけざるを得ない。冬期間の除雪体制については、通学・通勤路から優先して除雪を行っているが、路肩までの有効な幅員になるように除雪業者への徹底を図っていきたい。

#### 出席者

市長の公約でもある防災無線の整備について、現在の状況を教えてほしい。

#### 市長

防災無線の整備は平成19・20年度事業で実施を進めている。今年度中は機材を工場で作ってもらい、実際に市内で設置工事が始まるのは、来年の春以降を予定している。今度の防災無線はデジタルできれいな音で聞こえ、屋外スピーカーの設置場所を再検討することで「空白地帯」をなるべく作らないようにしていきたい。最近の家屋は防音性能が高いため、希望者には屋内スピーカーの設置も可能である。屋内スピーカーは38,000円程度で、そのうち半額程度の補助を市から行えるよう研究をしている。

6. 閉会のあいさつ 自治会長

【20:30 終了】